



令和3年度

茨城県優良図書紹介【幼児向け】



『パンどろぼう』 柴田 ケイコ (KADOKAWA)

おいしいパンをぬすんであるくねずみさん。せかいいちおいしいというパンやさんのパンのあじは…！？パンやさんといっしょにせかいいちおいしいパンをつくるねずみさんのおはなしです。



『みそしるをつくる』

高山なおみ 文、長野陽一 写真(ブロンズ新社)

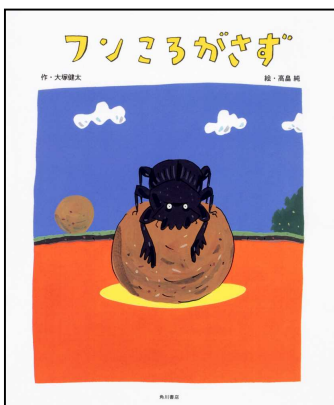
おみそしるをつくったことはありますか？このほんをみれば、おいしいおみそしるが、あなたにもつくれますよ。さあ、ちょうせんしてみましょう！



『トラといっしょに』

ダイアン・ホフマイアー 文、ジェシー・ホジスン 絵、さくまゆみこ 訳(徳間書店)

だれのこころのなかにも、こわがりやさんのきもちがありますね。それにうちかつことは、できるのでしょうか？こわがりやのトムは、こわーいトラとくらいよるのみにさんぽにいきました。さあ、トムはどうなったでしょう？



『フンころがさず』

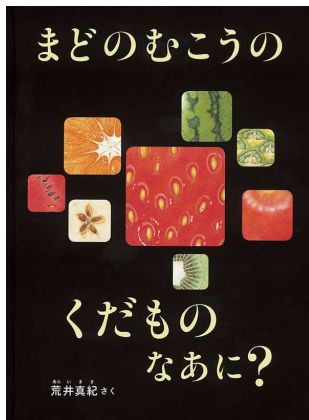
大塚健太 作、高畠純 絵 (KADOKAWA)

「フンころがし」なんてへんななまえだよ。でも、やっぱりぼくは、フンころがすのがだいすきなんだ。だから、だれになにをいわれても、ぼくはぼくで、好きなことをやっていいんだよね！



『ねこはるすばん』 町田尚子 作 (ほるぷ出版)

にんげんにかわれているネコが、もし、じゆうになったら、どんなことをするのか。好きなことをして、好きなたべものをたべて、たのしむのかな？げんきなネコと、いっしょにでかけてみましょう。



『まどのむこうのくだものなあに？』

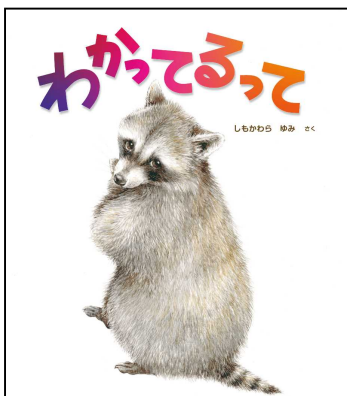
荒井真紀 作 (福音館書店)

みんながたべたことのあるくだもの、ちいさなまどからのぞいてみましょう。うえから、したから、ひょうめんだけでなく、なかみもわって、よくかんさつしてみましょう。くだものなまえわかるかな？



『はんぶんこ』 多田ヒロシ 作 (こぐま社)

どうぶつのおともだちがおやつをはんぶんにしてなかよくたべるようすをかいだえほんです。さいごのさいごまでしっかりみてみましょう。とてもやさしいきもちになりますよ。



『わかってるって』

しもかわらゆみ 作 (イメージーション・プラス)

おとうとがうまれた、たぬきのぼうや。おかあさんはあかちゃんのことはいっぱいいっぱい。わかっているけれど、おかあさんはぼくとあかちゃんどっちが好きなのかな？



『なにしてるの?』 鈴木まもる 作 (ポプラ社)

さんぽしながら、いろんなひととであい、いろんなひとのすきなことをききます。みんなのすきなことをしれて、とってもうれしい。さいごはじぶんのすきなものをもって、おかあさんにプレゼントしましょう。



『こんにちは! わたしのえ』

はたこうじろう 作 (ほるぷ出版)

さいしょは、おそろおそろいっぽんのふででえをかいていたけれど…。からだぜんたいで、えをかくことって、とってもたのしいのです。